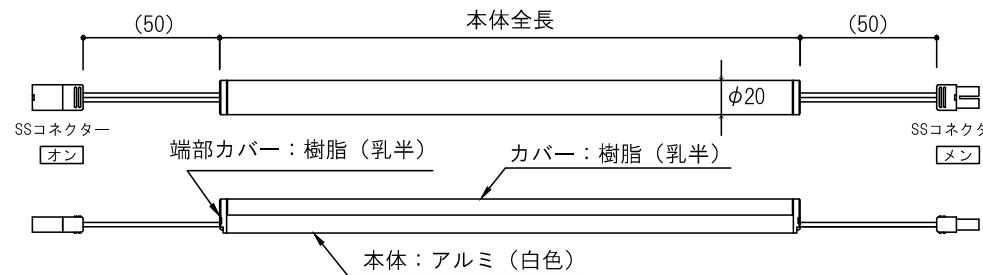


保存用

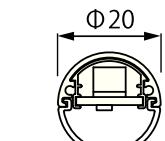
仕様説明書

LED100V スリムランプ型照明シリーズ M20VS [一般照明・陳列物照射・演出照明対応] ^(PS)_E 対応

M20VS 仕様図



器具記号 **M20VS** ① サイズ(mm) **1640** ② LED 光源色 **D** - ③ コードタイプ **SS**



2000Lux(直下250mm)

② LED光源色

	LED色	平均色温度
D	昼光色	6500k
N	昼白色	5000k
L	電球色	3000k

※在庫確認の上、発注をお願いいたします。

※LEDにはバラツキがあるため、発光色、明るさが異なる場合があります。
ご了承ください。(データは平均値を表記しています。)

■Φ20スリムランプ型LED照明 M20VS (定格 AC100V 50/60Hz) ※器具同士の連結は合計1.2Aまでです。

適合ランプ	型 番	本体全長 (mm)	入力電流 (A)	入力電力 (W)	連結合計台数 (推奨台数)
M20VS	340□-□[受]	340	0.07	3.5	17
22	M20VS 510□-□[受]	510	0.12	7.0	10
30	M20VS 660□-□[受]	660	0.14	7.0	8
36	M20VS 830□-□[受]	830	0.19	10.5	6
42	M20VS 1000□-□[受]	1000	0.24	14.0	5
48	M20VS 1150□-□[受]	1150	0.26	14.0	4
54	M20VS 1320□-□[受]	1320	0.31	17.5	3
60	M20VS 1470□-□[受]	1470	0.33	17.5	3
64	M20VS 1640□-□[受]	1640	0.38	21.0	3

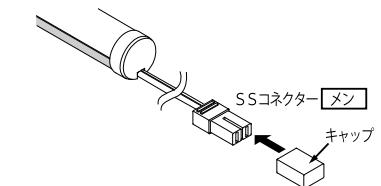
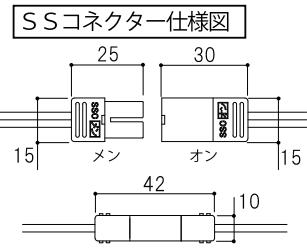
※[受]受注生産品です。※納期確認してください。

M20VS-SS [連結仕様] M20VS-SSM [エンド仕様]

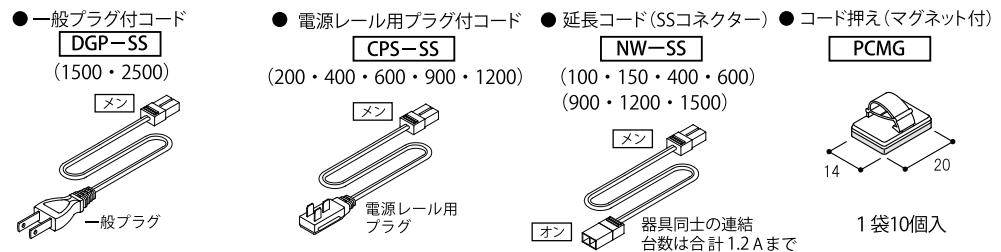
[製造元] SRT

SSコネクターについて

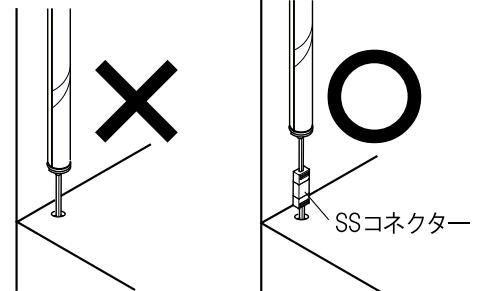
- ① SSコネクターは当社LED器具の専用コネクターです。他メーカーとの互換性はありません。
電力供給、連結に使用されるプラグ、コードは必ず別売の専用コードを使用して下さい。
- ② SSコネクターは必ず奥まで差込んで使用して下さい。
- ③ SSコネクターを抜き差しする場合は必ずコネクター部分を持って行って下さい。
コードを持って抜くとコードの切断、破損の原因になります。
- ④ 連結した器具同士を引張ったり、コードを持ってぶら下げたりしないで下さい。
- ⑤ コネクタ開口部に、針金・ヘアピン等の金属・先端の尖った棒などの異物を差し込んだりしないで下さい。コネクター内部が破損し接触不良、漏電、感電等の原因になります。使わないコネクターは付属のキャップを取付けて下さい。
- ⑥ 水に濡れた手、指などで器具、コネクタを触らないで下さい。
また、水を使用する場所や常温(40°C)以上の場所での使用は避けて下さい。
漏電、感電の原因になります。
- ⑦ 連結仕様の場合、配線に残る [メン] SSコネクターの先端はキャップを使って保護して下さい。



配線用パーツ（別売）

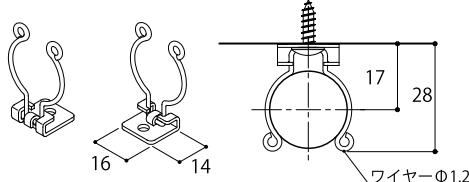


- ・メンテナンス・点検等で容易に外せるよう、コネクター部分を隠さずに取り付けて下さい。
- また器具交換等の場合も器具本体の取外しが容易に行えるよう配線して取り付けをお願いします。
- ・隠す場合は配線キャップの使用・グロメット等の使用をお勧めします。

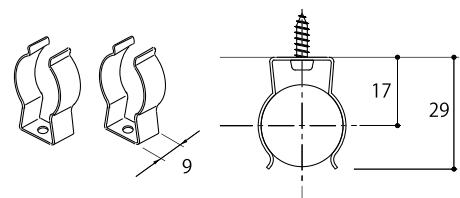


取付け用パーツ（別売）

- ワイヤーサドルセット（2個1セット） **SDC-S**
専用ナベビスΦ3.5×12(2本付)



- 取り付け用サドルセット（2個1セット） **SDN-N**
専用ナベビスΦ3.5×12(2本付)



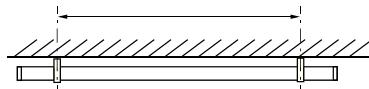
■ サドル位置について



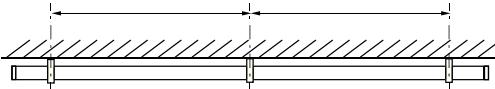
器具にたわみ・曲がりが無く保持出来るよう、支持位置・支持数は充分に検討ください。長時間器具がたわむと変形・落下の原因になります。

参考 最大支持間隔=700mm

● 支持2ヶ所



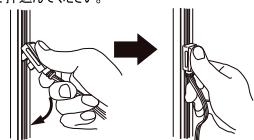
● 支持3ヶ所



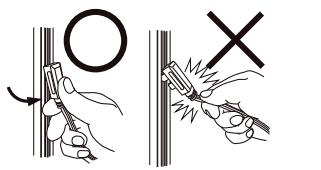
電源供給について

■ 電源レール用プラグ付コードの場合

- 電源プラグを差し込む場合はプラグ頭部を持ってレール溝部分に差し込んでください。最後に手でしっかりと奥まで押込んでください。



- 電源レール断面
■：電源レール断面に
プラグを差し込んだ状態



■：電源レールプラグ

■：電源レール断面に
プラグを差し込んだ状態

■：電源レールプラグ

■：電源レール断面に
プラグを差し込んだ状態

■：電源レールプラグ

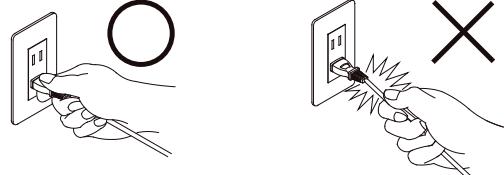
■：電源レール断面に
プラグを差し込んだ状態

■：電源レールプラグ

注意 ■：電源プラグを抜く場合はプラグ頭部を持ち、こじる様にゆきり金具部分を抜いてください。コード部分だけを持って絶対に外さないで下さい。

■ 一般プラグ付コードの場合

注意 ■：電源コードをコンセントに差す場合や抜く場合は必ずプラグ及びコネクタ本体部分を持って行なって下さい。コードを持って抜くとコードの切断・感電・漏電の原因になります。



! 器具を安全にお使いいただくための取り扱い注意事項

■ 施工上のご注意

- 器具を取り付ける場所が器具重量及び、保守点検に十分耐えられるか確認ください。強度不足だと火災、感電、落下の原因になります。
- 収納部、壁面及び密閉された場所などでの取り付けで許容温度以上の温度上昇がある場合、LEDの短寿命、不点灯、故障の原因、または電線の劣化などの原因になります。器具との間隔を十分にとり、空気の循環のための放熱穴等を設けてください。
- 器具を並列に取り付ける場合には器具同士の間隔をとってください。熱干渉により照度がおちたり、短寿命、不点灯、故障の原因になります。
- 器具コードを引っ張ったり、拽んだりしないでください。破損の上、過熱、火災、感電の原因になります。
- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 冷暖房機器、火気などの上、または近くに器具の取り付けはしないでください。熱により変形、落下、火災の原因になります。
- 器具の改造、分解はしないでください。起動方式の変更、部品追加は禁止です。販売後の改造については保証していません。改造後の事故、不都合についても改造、使用者側で対処してください。
- 設置場所によって器具の電磁波でTVやラジオなどの音響、映像機器、OA機器に影響が起きる場合がありますのでご注意ください。雑音が入る場合は器具を機器から十分に離してください。
- 交換の際は本体ごと交換してください。LED基板、素子単体での交換はできません。

■ ご使用上のご注意

- 器具個別の取扱説明書や本体表示を必ずお読みの上、正しくお使いください。間違った使用をすると火災、感電、落下の原因になります。
- 器具の改造、分解はしないでください。火災、感電、落下の原因になります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。電源電圧が高すぎたり、低すぎると器具内部部品が過熱し焼損したり、LEDの不点灯、短寿命の原因になります。
- 周囲温度5°C~40°C以内、湿度85%以下の環境で使用してください。この範囲をこえると器具の火災・落下・変色・変形・点灯不良の原因になります。
- 油煙、塵埃の多い場所、振動、衝撃、腐食性ガス、可燃性ガスの影響を受ける場所での使用はしないでください。火災、感電、落下などの原因になります。
- 特殊な用途（医療用、写真撮影用、乗物用、信号用など）に使用しないでください。火災、感電、落下、ノイズによる事故の原因になります。
- 器具に荷重をかけたり、布や紙等の燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災、変形、変色の原因になります。
- 屋内専用器具です。浴室、屋外など湿気、水気のあるところ、雨のかかるところには使用しないでください。感電、漏電のおそれがあります。
- 器具の隙間や穴などに金属類を差し込まないでください。電源部に金属が触れて感電の原因になります。
- 器具に殺虫剤、洗剤などの薬品を噴射しないでください。シンナーなどで拭かないでください。器具の火災、変形、変色の原因になります。
- LEDは発光色や明るさがバラつく場合がありますのでご了承ください。カタログ表記の照度、配光、色温度、消費電力などは参考値であり、その値を保証するものではありません。目安としてお考えください。
- LEDの寿命について、当製品では点灯初期に測定した光束が70%に低下するまでの総点灯時間とさせて頂きます。これらはあくまで設計寿命であり、この寿命を保証するものではありません
- 商品を照明の近くに置くと変色する恐れがあります。

■ 定期点検のおすすめ

- 器具の寿命は使用条件（周囲温度、湿度、電源電圧、点灯時間、汚損・振動など）によって大きく影響されます。一律に規定することは困難ですがLED部品に限らず器具部品にはそれぞれ寿命があります。設置して8~10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行している可能性があります。少しでも長く愛用いただけるように定期的に点検してください。また異常が見られた場合は必ず販売店にご相談ください。

■ お手入れの方法について

- 使用条件を守り、適正な使用により故障、事故、火災などを未然に防ぐことができます。またお手入れ、清掃で、より器具の寿命劣化を防ぐことも可能です。その為にも半年に一度の清掃をおすすめします。
- 清掃、お手入れの際は必ず電源を切っておこなってください。通電状態での作業は感電、故障の原因になります。
- 器具内など電気の通る部分には水、液体、薬品等はつけないようにしてください。
- 外装部分のヨゴレ等は少量の水、または中性洗剤を用いて柔らかい布で軽く拭きとってください。乾いた布などで拭くと静電気がおこり、ホコリがつきやすくなります。また、シンナー・アルコールなどは使用しないでください。変形、火災、故障の原因になります。
- 蓄積されたホコリで熱が逃げない場合、火災、事故の原因になります。ハタキ、やわらかいブラシ等でこまめにホコリを落としてください。